



若竹だより



【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

少子化対策特別委員会視察

園長 宮脇景子

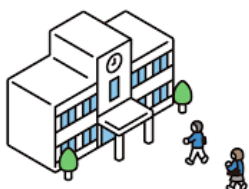
9月8日、香川県少子化対策特別委員会の視察がありました。マイクロバスで、議員様・事務局職員様含め、約20名程度の方がいらっしゃいました。

まず、学園と今年度開校になった分校から現在の取り組みについて説明し、その後学園と学校の見学をしていただきました。議員さんから説明や見学中に、様々な質問があり、一つ一つ真摯に答えさせていただきました。

子どもたちは、大勢の方々に驚いていた様子も見受けられましたが、議員さんから、笑顔で声をかけられると、笑顔で答え返す子どももいました。

地元の児童心理治療施設の現場を生で感じ、施設の現状を知っていただき、社会的養護の必要性やここでの生活する子どもたちへの支援の必要性等、この視察で得た知見を香川県の政策提言や個人の政策に生かさせていただけることを願っております。

最後になりましたが、香川県下にたくさんの児童関係の施設等がある中、児童心理治療施設である若竹学園を選定していただきましたことに感謝を申し上げます。



今年は8月29日・30日徳島県の祖谷溪キャンプ場でキャンプをしてきました。天候にも恵まれ、こちよいい風も吹いていました。

到着後、それぞれの班に分かれてテントの設営を行いました。事前の練習もあり、スムーズにテントを建てる事が出来ました。また、去年キャンプを経験した子どもが初めてキャンプに参加する子どもに積極的に声をかけテントの組み立て方を教えてくれている姿に子どもたちの成長を感じました。



テントを建てた後は昼食を食べ、全員待望の川遊びをしました。前日の雨の影響で川の流れが少し早かったため、川の流れが緩やかな場所でのみ川遊びを楽しみました。ライフジャケットを着用し、職員に指定されたエリア内で安全に楽しく遊ぶ事が出来ました。思っていたより

も、水温が低く「さっむ〜！」と言いながらも果敢に川に飛び込んで行く子ども達を見て感心しました。小学生も元気よく川に飛び込んでいました。日常生活ではなかなか味わえない体験に子ども達もワクワクしていました。



川遊び以外にも、希望者はシャボン玉や石切で遊びました。飛びやすい石を一生懸命探し、何度も挑戦していました。



おやつは、アイスを作りました。氷と塩を混ぜると冷たくなることに職員も子どもたちも始めは疑心暗鬼でしたが、みるみるうちにアイスが出来上がっていく事に驚いていました。どの班も上手に作れ、「美味しい〜」と笑顔で食べていました。



夜ごはんは、BBQをしました。各班で協力して準備から片付けまで行いました。

BBQの後は、肝試しと花火をしました。今年

は、1人ひとりに自分用の花火を配りました。自分でどの種類から使うか選びながらそれぞれ花火を楽しみました。

2日目は、起床後テントの片付けをし、朝食はホットドックを作りました。ご飯を食べた後は宝探しをし、再び川遊びを楽しみました。最後に、全員で盆踊りをしました。夏まつりでの成果もあり、全員で楽しく踊る事が出来ました。

2日間普段とは違う環境で大人も子どもも全力で遊び、自然とふれあう事が出来ました。



自立や成長に繋げることを目標に昨年度と同様、子どもと一緒にメニューを考えて、クッキングセラピーを実施しました。

鍋に大量のお肉や白菜を投入し、ポン酢とごまだれにつけて美味しく食べました。子どもからの要望もあり、トマトを具材に加えました。「トマト甘くて、美味しい。」という感想もあり、嬉しかったです。デザートにアイスを作りました。バナナオーレを加えることで、バナナ風味のアイスを作ることができました。



9/23 災害によりライフラインがストップした状況を想定して非常食作りをしました。野菜ジュースとお湯を入れただけで出来る白米にレトルトのカレーをかけて食べました。待ち時間には、防災クイズを出してくれました。

9月1日 亀山学園より異動してきました

矢野 幸太



子どもたちと共に喜び、共に泣くことが出来るよう、真摯に向き合っていきたいと思えます。ご指導よろしくお願い致します。

高木 和美



子どもたちと楽しい経験を積み、良い思い出をたくさん作りたと思います。宜しくお願い致します。

中川 日和



亀山学園とは全く環境が違い、不安も多いですが、今までの自分の経験を活かして若竹学園でも頑張っていきます。

松下 幸太郎



亀山学園で学んだ経験を活かし、生活の中で子どもたちと関わり共に成長していきたいと思えます。これからも宜しくお願い致します。

9月行事

8日	少子化対策特別委員会視察
17日	買物外出(お菓子)
23日	誕生日ケーキづくり
23日	防災訓練(防災食づくり)
24日	買物外出

在籍人数

令和5年10月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	1	5
中学生	8	2	10
高校生	3	0	3
合計	15	3	18

編集後記

9月1日付けで人事異動がありました。子どもたちは、担当職員との、お別れを悲しんでいました。しかしお手紙を渡すなど自分なりに、けじめをつけていたように感じました。そして新しい職員をお迎えできていました。

亀山 幸

第444発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮脇 景子



五色台分校だより

始業式

2学期の始業式が行われました。それぞれ新たな気持ちで2学期をスタートしました。周りの人たちに支えられていることに感謝して、2学期も頑張りたいと思います。



合同技術

中学校の技術の授業を、合同で行うことになりました。講堂に机と椅子を持ち込み、中学生全員で一斉授業を行いました。今回は教科書を使った座学ですが、これからは合同で作業を行うこともあります。授業の中では、話し合いをしたり、お互いにアドバイスをしたり協力したりする場面も見られました。今後も合同授業が楽しみです。



学校訪問



教育委員会の先生方が、五色台分校の授業を参観に来られました。熱心な授業態度を褒めてくれました。

朝読書

2学期から朝読書の時間が始まりました。授業が始まる前の25分間、心を落ち着けて読書を行います。小学生は音読学習をしています。図書館も2学期から開館しました。読書の秋になりました。これから、たくさん本を読んでほしいと思います。



カヌー体験

国分寺橋ノ丘総合運動公園でカヌー体験を行いました。始めは漕いでもなかなか進むことができませんでしたが、みんなどんどん上達していきました。インストラクターの方の話をよく聞いて、準備から片付けまで協力してできました。

